



テラス(自在桁はね出し、後やぐら、傾斜納まり)

取付け説明書

●この説明書について

- ・他の商品と共通となっておりますので、商品によっては設定のない仕様も掲載されております。
- ・必ず取付けされる方にお渡しください。

■取付けされる方へのお願い

- 本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。

- ▲注意** …取付けを誤った場合に、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。
冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

▲注意

※製品破損による人への被害・物的損害が想定されますので、下記事項をお守りください。

●設置条件

- ・傾斜納まりは木造住宅2階以下に取付けてください。3階以上には絶対に取付けないでください。

※水漏れのおそれがありますので、下記事項をお守りください。

●シーリングについて

- ・シーリングは指定個所に必ず行ってください。
- ・外壁の上から部材を取付ける場合は、シーリング材を下穴に充てんしてからねじ止めしてください。

■取付け上のお願い

- 取付けは専門業者が行ってください。

■目次

- 自在桁はね出し納まりの取付け……………P.3～4
- 後やぐら納まりの取付け……………P.5～7
- 傾斜納まりの取付け……………P.8～10
- 切断寸法式……………P.11
- 姿図……………P.12

■ 梱包明細表

● 自在桁カバー部品セット

名 称	略 図	員 数
自在桁カバー(L=2200)		1
自在桁カバーキャップL		2
自在桁カバーキャップR		2
穴隠しシール		2
ナベドリルねじφ4×13	—	7
トラスタッピンねじ(1種)φ4×12	—	4
取付け説明書	—	1

● 中間柱セット(前面スクリーン用・自在桁長尺)

名 称	略 図	員 数	
		1本用	2本用
後やぐら柱		1	
柱固定金具		1	
アンカー棒		1	
トラス小ねじM5×12	—	8	
取付け説明書	—	1	

● 傾斜用水切り材セット

名 称	略 図	員 数
水切り本体(L=1900)		1

● 傾斜用部品セット

名 称	略 図	員 数
傾斜用水切り端部部品		2
丸木ねじφ4.5×63	—	3
トラスタッピンねじ(3種)φ4×10	—	4
平ワッシャーM4用	—	4
スプリングワッシャーM4用	—	4
袋ナットM4用	—	4
取付け説明書	—	1

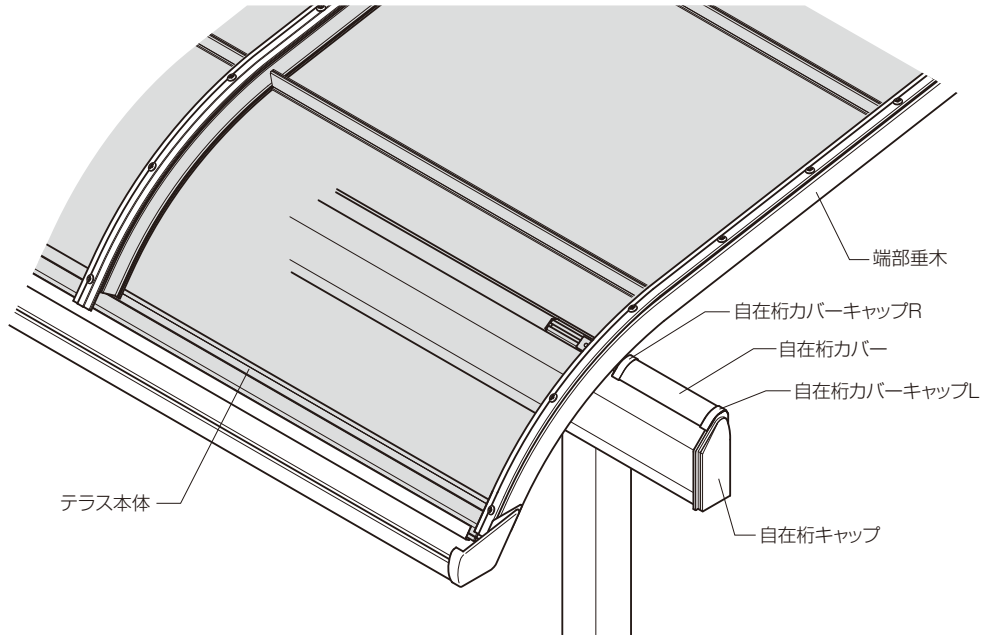
● 造付け屋根取付け部品セット

名 称	略 図	員 数	
		1本用	2本用
柱壁付け固定部品 (中間用アルミ)		2	4
柱キャップ		1	2
六角ボルトM8×90	—	2	4
平ワッシャーM8用	—	4	8
スプリングワッシャーM8用	—	2	4
袋ナットM8用	—	2	4
六角タッピンねじ(1種)φ6×70	—	4	8
トラスタッピンねじ(3種)φ5×12	—	2	4
平ワッシャーM6用	—	4	8
スプリングワッシャーM6用	—	4	8

自在桁はね出し納まりの取付け

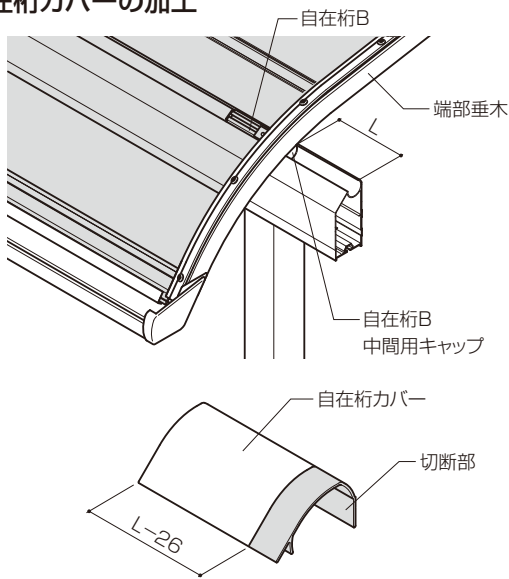
※取付けの際はテラス(自在桁)の取付け説明書と併せてご使用ください。

■構造説明図



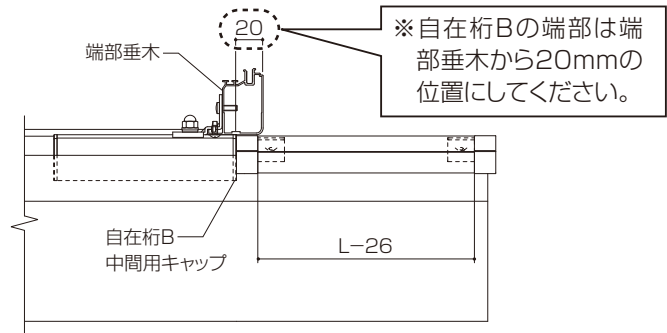
■取付け順序

1 自在桁カバーの加工

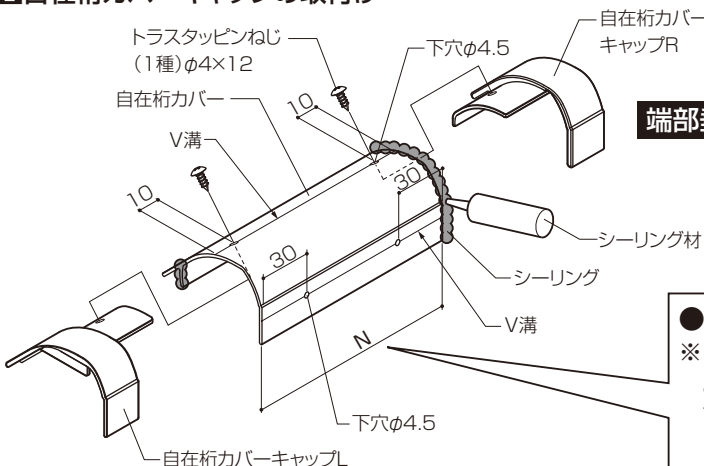


ポイント

- 自在桁B中間キャップ端面から自在桁A端部までの実測値:L
自在桁カバー切断寸法:L-26
※L寸法は2200mm以下でかつ屋根W寸法の1/3以下にしてください。



2 自在桁カバーキャップの取付け



端部垂木側

ポイント

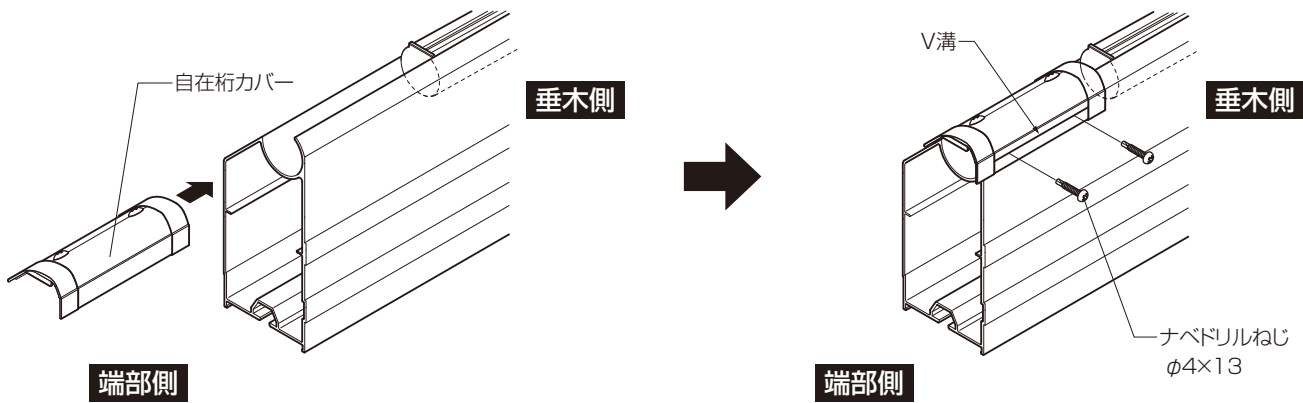
- 端部垂木側は後からシーリングできないので、端部垂木側のみキャップと形材の合わせ面にシーリングをしてください。

●下穴数

※均等に固定できるように下穴をあけてください。

N	下穴(φ4.5)の数
501未満	2
501以上1200未満	3
1200以上1700未満	4
1700以上	5

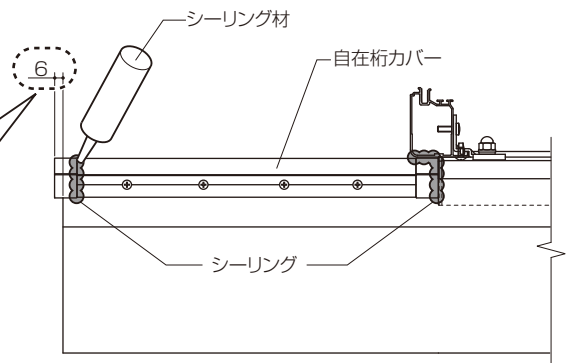
3 自在桁カバーの取付け



ポイント

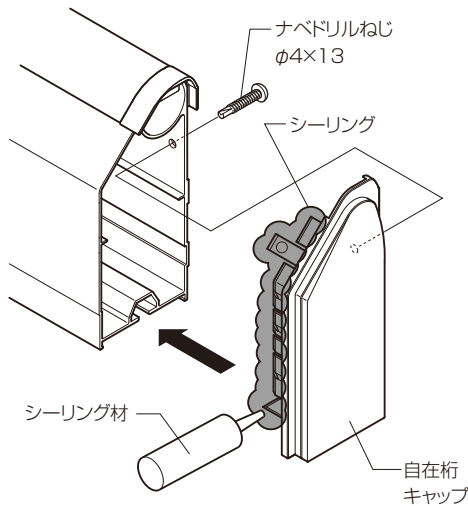
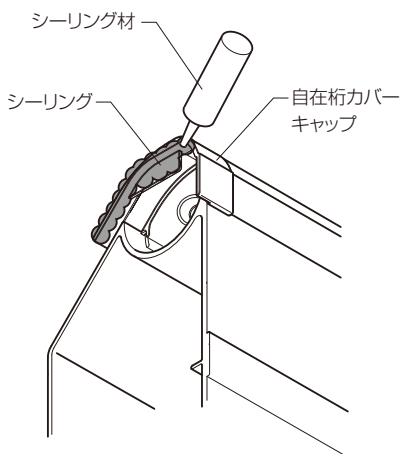
- 自在桁カバーキャップと自在桁Bの接触部分および、端部側の自在桁カバーとキャップの合わせ面にシーリングしてください。

※ 自在桁端部から6mmの位置に取付けてください。

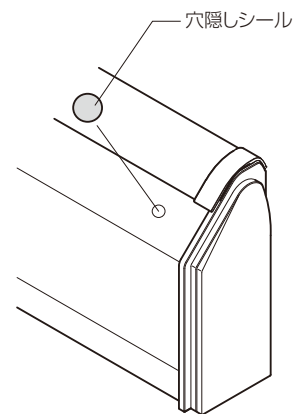


4 自在桁キャップの取付け

① 自在桁キャップの取付け



② 穴隠しシールの張付け



ポイント

- 自在桁カバーキャップにシーリングをしてください。
- 自在桁キャップのはめ合わせ部分にシーリングをしてください。
- 自在桁キャップのシーリングはテラス(自在桁)の取付け説明書を参照してください。

後やぐら納まりの取付け

※取付けの際はテラス(3尺~6尺)又は、テラス(大型)の取付け説明書と併せてご使用ください。

■取付け順序

1 後やぐら柱の切断

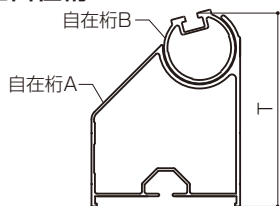
※下表を参考に後やぐら柱を切断してください。

●後やぐら柱必要長さ

=H-T+柱埋込み長さ

※H寸法は実測してください。

■自在桁



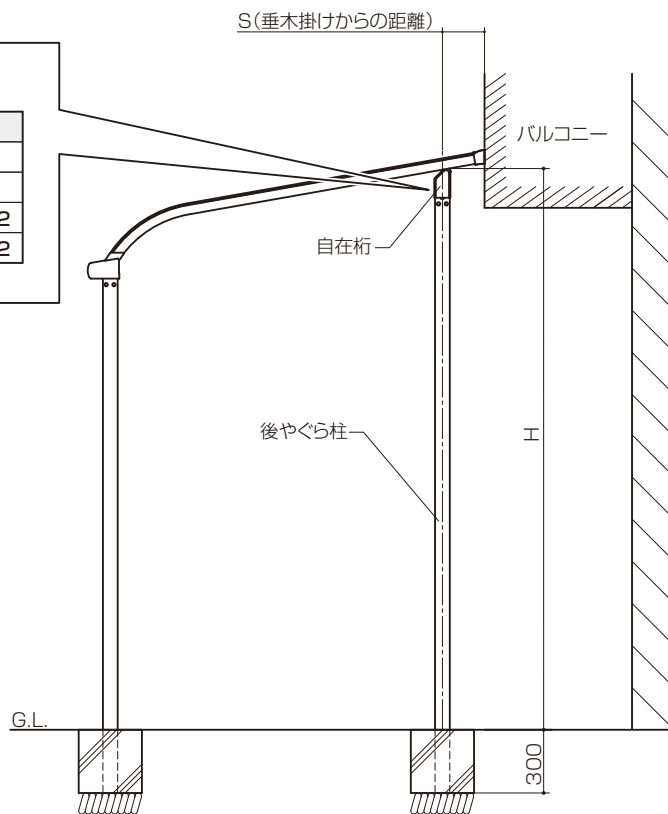
自在桁	T
A-1	94
A-2	139
A-3	164.2
A-4	184.2

●後やぐら柱取付け位置 S

- ・ 100<S(≦500)
- ・ 250<S≦500(推奨範囲)

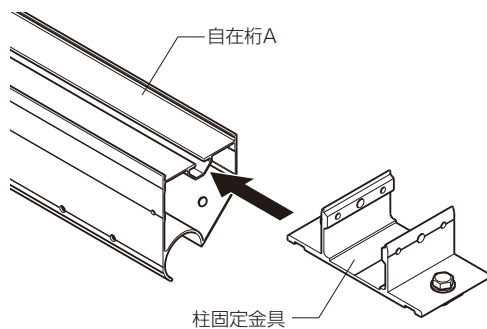
ポイント

- 自在桁は自在桁使用時の間口、出幅、強度区分に合致したものを使用してください。
- 基礎サイズはテラス本体の基礎サイズと同じにしてください。

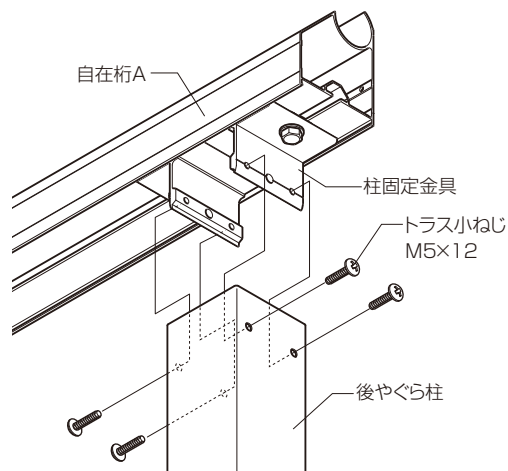


2 後やぐら柱の取付け

①柱固定金具の取付け

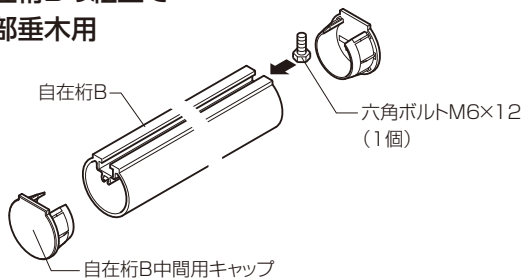


②柱の取付け

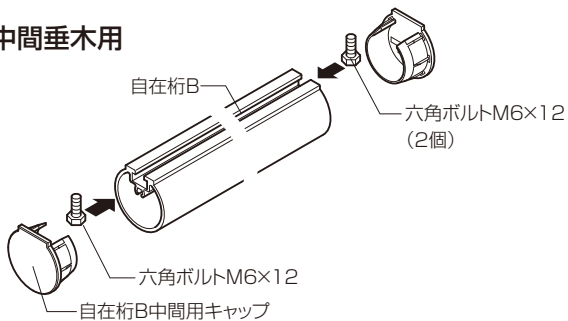


3 自在桁Bの組立て

● 端部垂木用

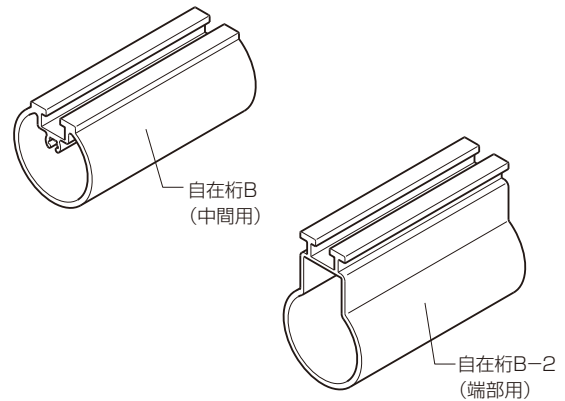


● 中間垂木用



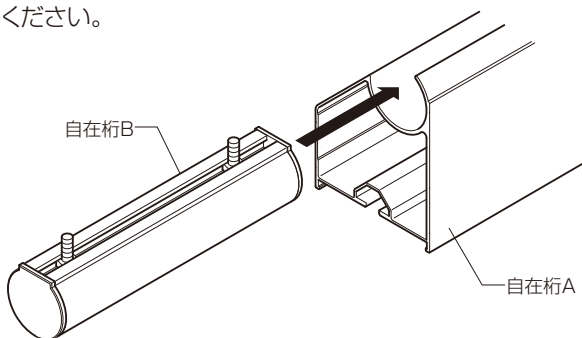
■ フラットタイプ屋根1500タイプ9尺の自在桁Bについて

※フラットタイプ屋根1500タイプ9尺の自在桁Bは端部と中間では形状が異なります。組立てに関しては他のタイプと同様です。



4 自在桁Bの取付け

● 両端に端部端部垂木用がくるように、自在桁Bを挿入してください。

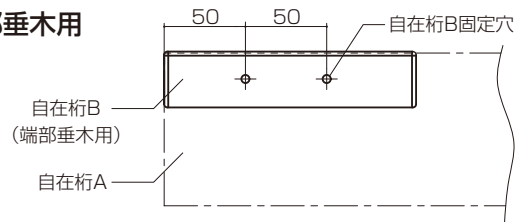


ポイント

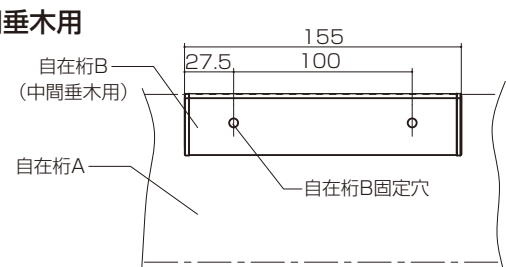
- 端部垂木用自在桁Bは自在桁Aと端部を合わせてください。
- 中間垂木用の自在桁Bは固定穴の中心においてください。

■ 自在桁B取付け位置

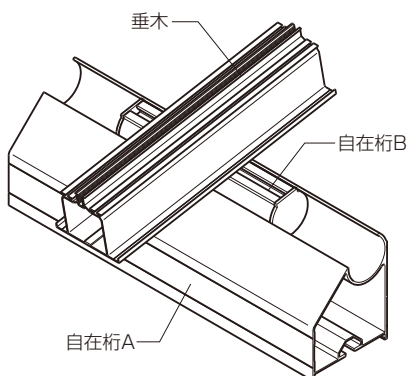
● 端部垂木用



● 中間垂木用



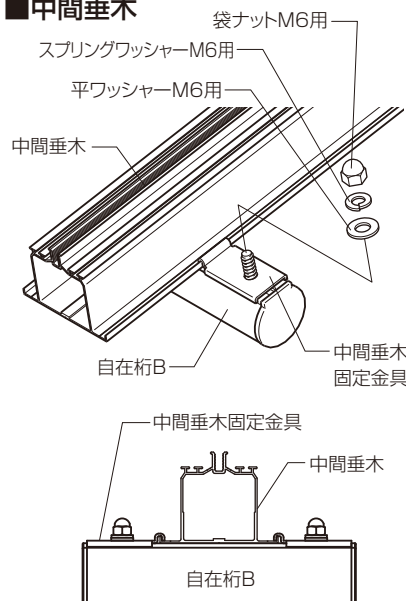
5 自在桁と垂木の組付け



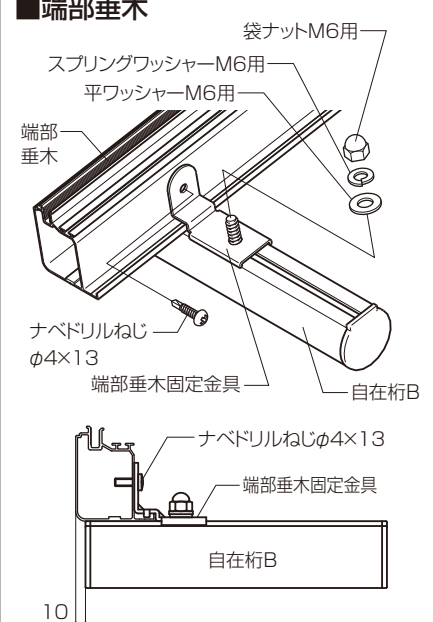
ポイント

- 端部垂木は自在桁Bから10mmはみ出した位置になります。

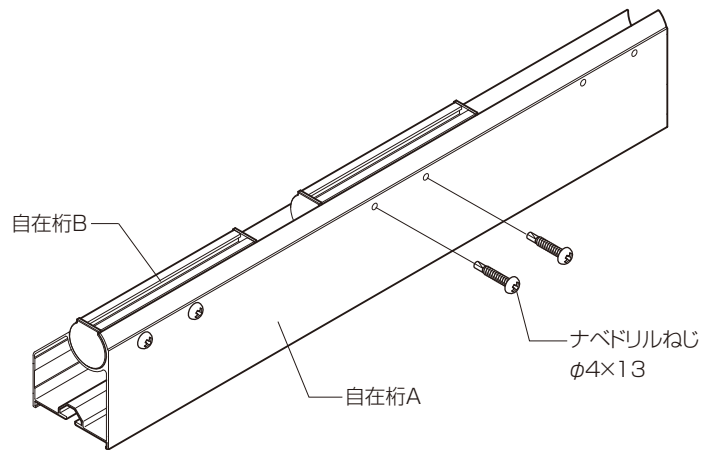
■ 中間垂木



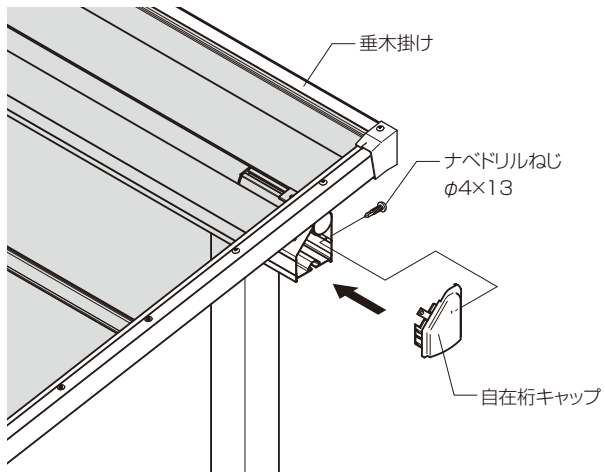
■ 端部垂木



6 自在桁AとBの固定

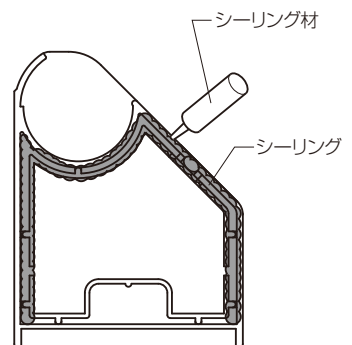


7 自在桁キャップの取付け



■自在桁キャップシーリング箇所

※自在桁にのみ込ませる部分にシーリング材を充てんしてください。下部は必要ありません。



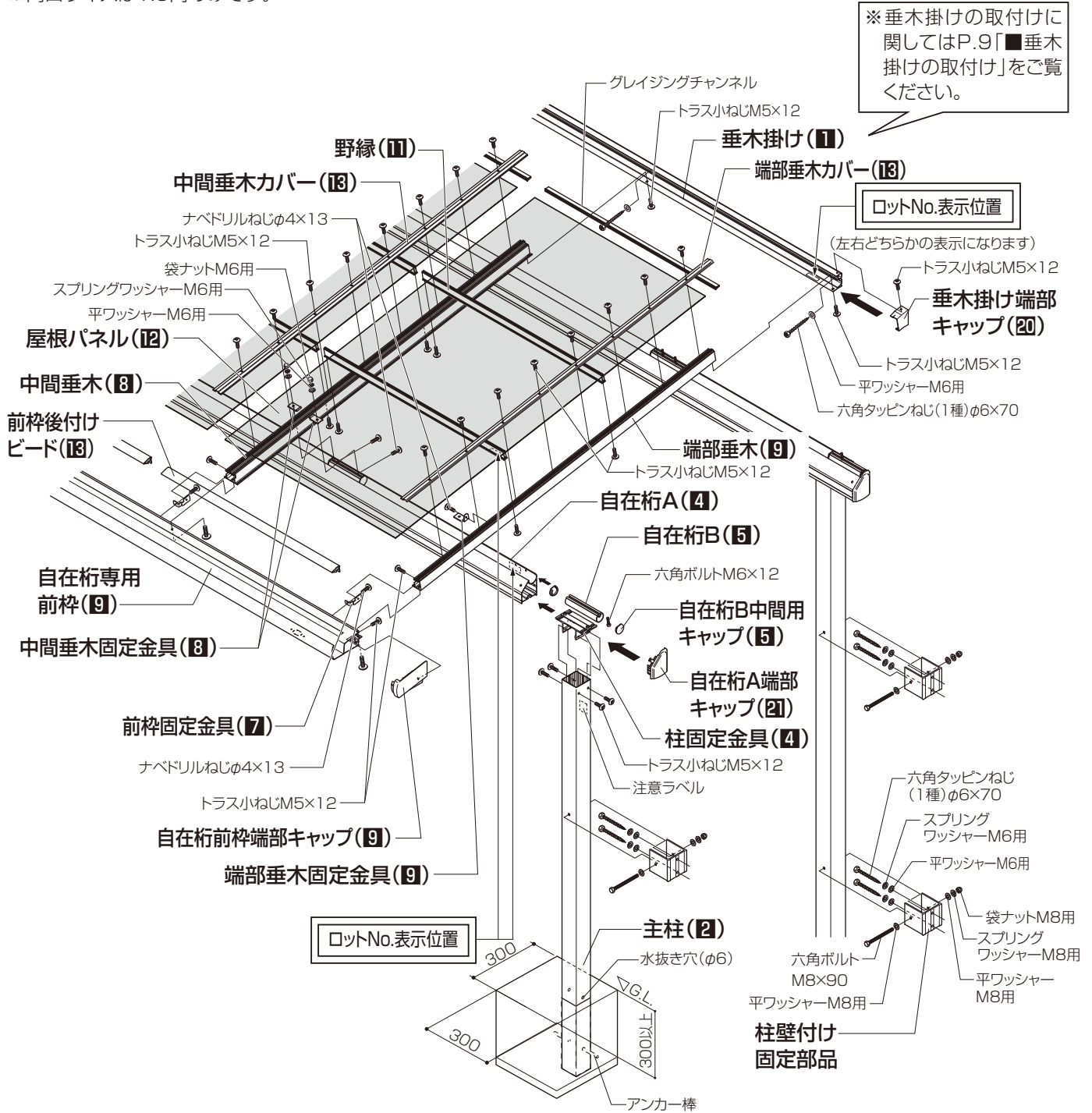
傾斜納まりの取付け

※取付けの際はテラス(自在桁)の取付け説明書と併せてご使用ください。

■構造説明図

※傾斜納まりはフラット屋根のみの設定です。

※間口サイズは1.0間のみです。



■取付け順序

※各項の取付け詳細は、テラス(自在桁)取付け説明書を参照してください。

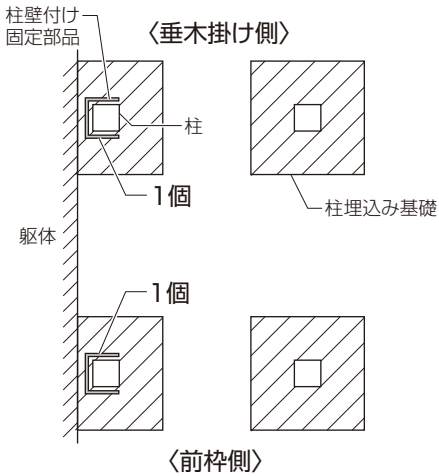
■柱の位置決めと柱壁付け固定部品の取付け

●P.11「■切断寸法図」から柱を位置決めしてください。

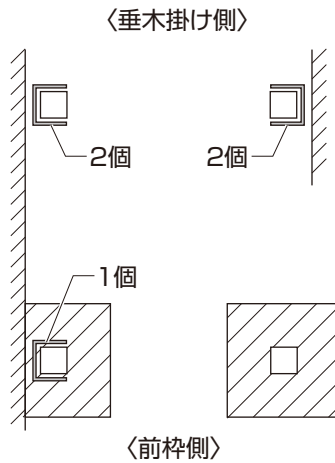
●下図「■柱壁付け固定部品 取付け個数」を確認し、必要数の柱壁付け固定部品を取付けてください。

■柱壁付け固定部品 取付け個数

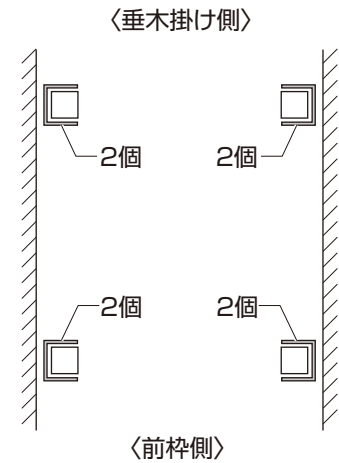
【すべての柱を埋込む場合】



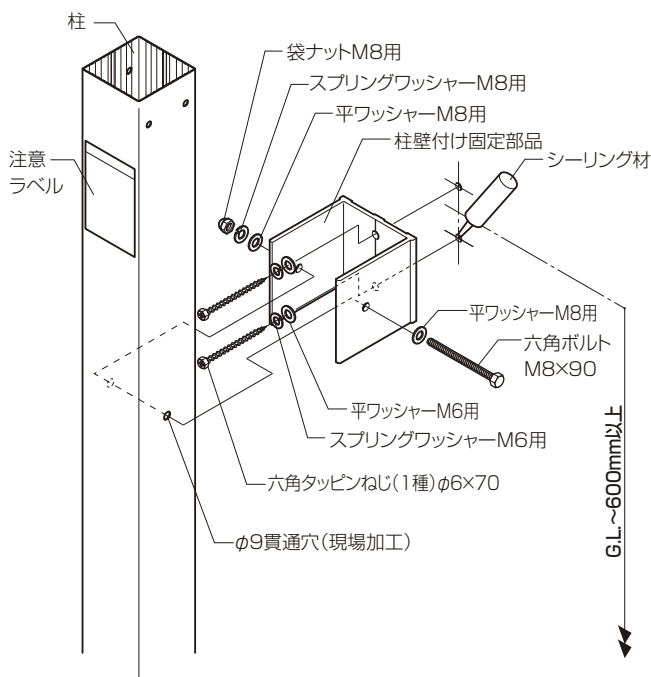
【前側の柱を埋込む場合】



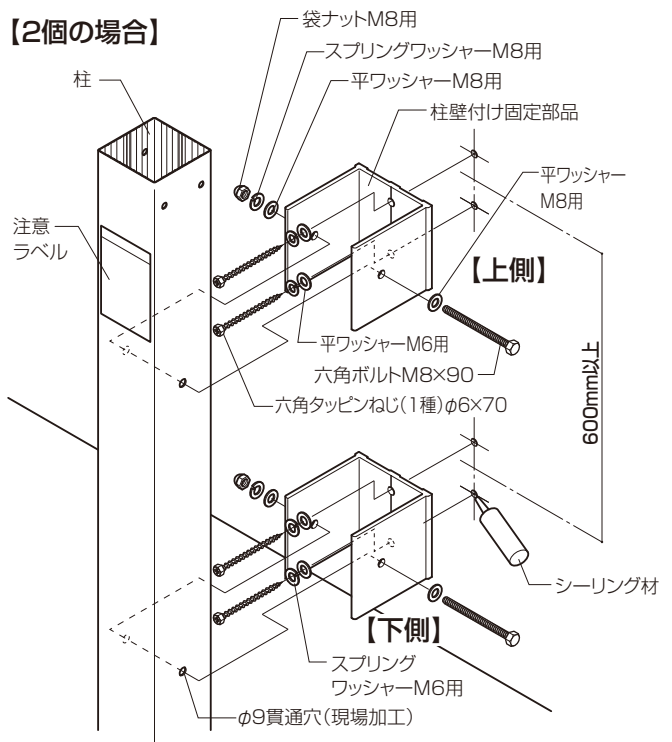
【柱を埋込まない場合】



【1個の場合】



【2個の場合】

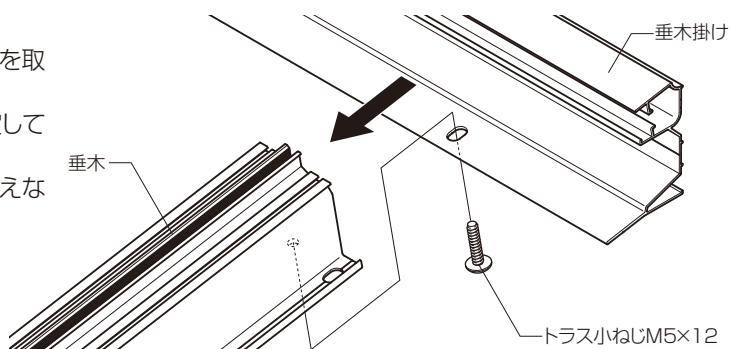


■垂木掛けの取付け

●自在桁と垂木の取付け(8)後、垂木掛けを取付けてください。

※垂木掛けは躯体に取付けず、垂木と固定してください。

※パネルを取付ける際は、垂木掛けを押さえずながら挿入してください。

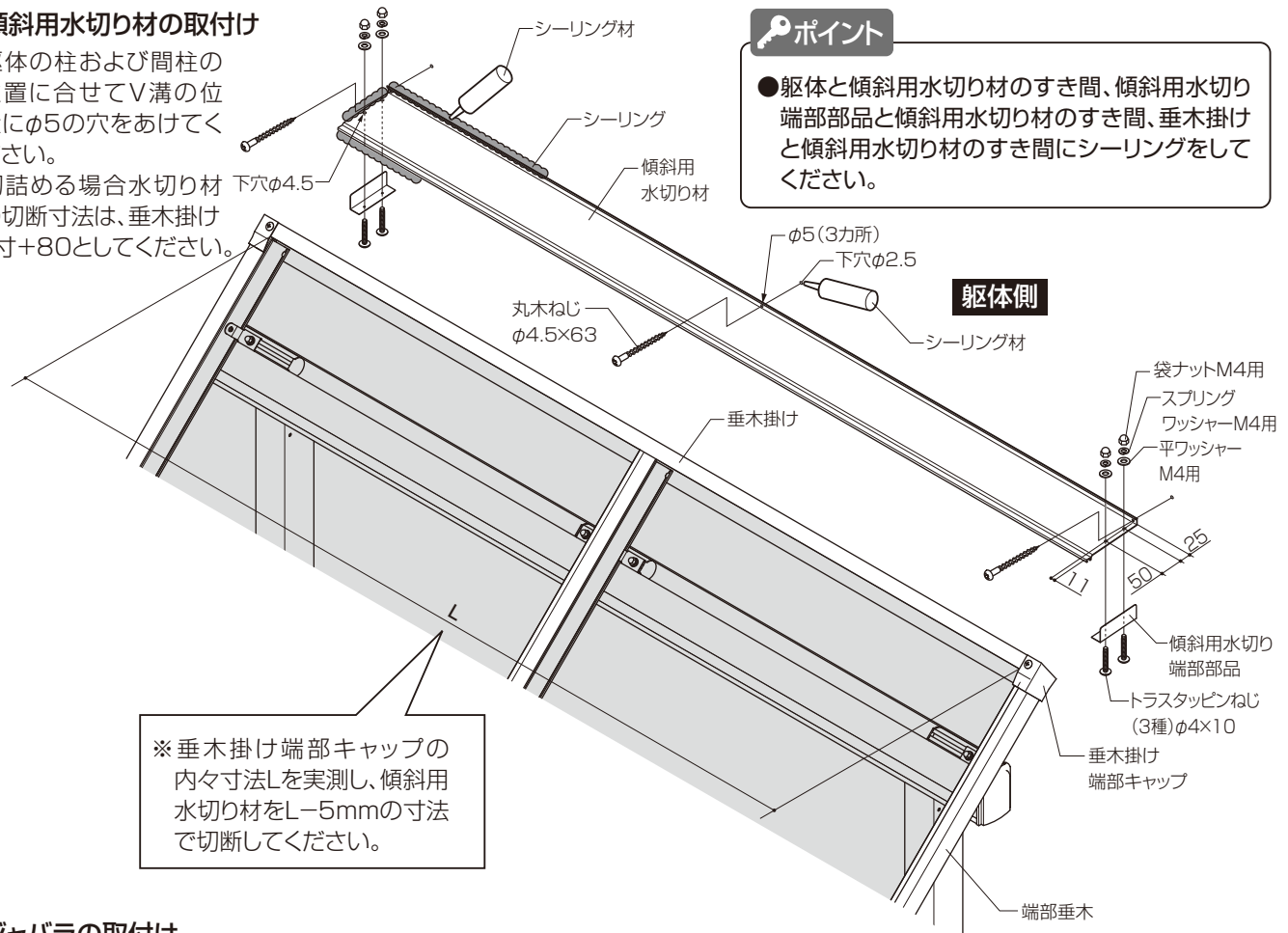


■傾斜用水切り材の取付け

- 躯体の柱および間柱の位置に合わせてV溝の位置にφ5の穴をあけてください。
- 切詰める場合水切り材の切断寸法は、垂木掛けL寸+80としてください。

ポイント

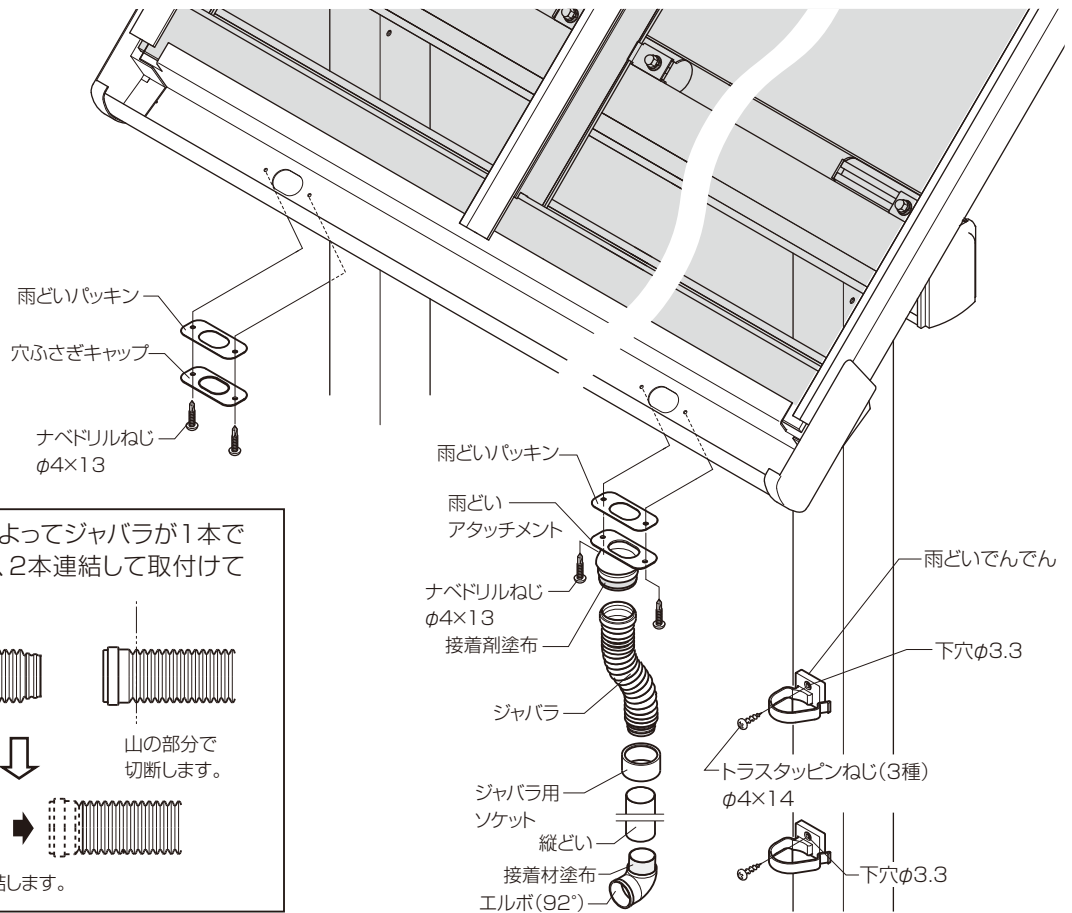
- 躯体と傾斜用水切り材のすき間、傾斜用水切り材のすき間、傾斜用水切り材のすき間にシーリング材をしてください。



※ 垂木掛け端部キャップの内々寸法Lを実測し、傾斜用水切り材をL-5mmの寸法で切断してください。

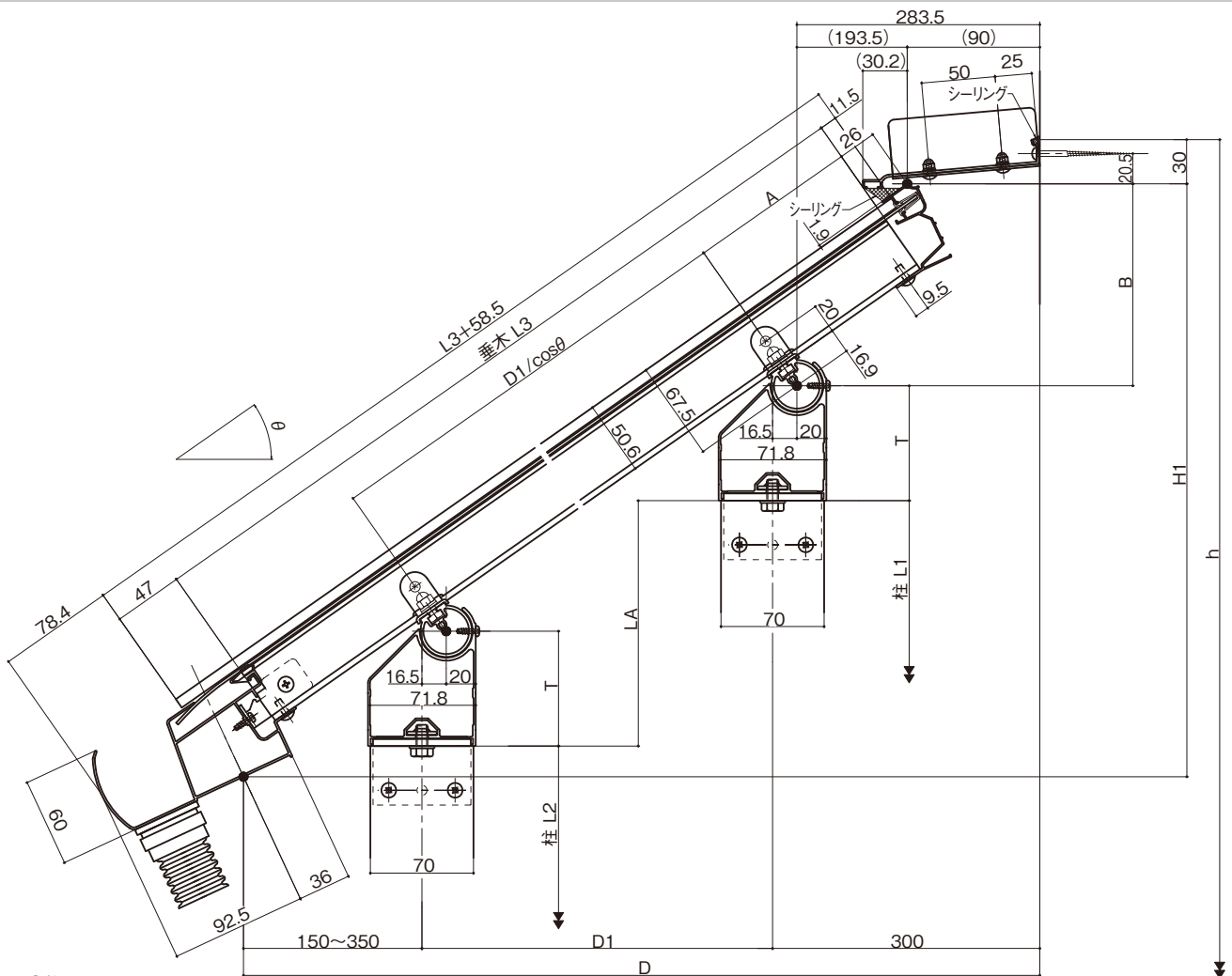
■ジャバラの取付け

- 自在垂木掛けの場合、ドレンエルボが使用できないのでジャバラを使用してください。



※ 柱の取付け位置によってジャバラが1本では足りない場合は、2本連結して取付けてください。

■切断寸法式



●柱 L1
 $L1 = h - B - T - 30 + 300$ (埋め込み寸法)
 $B = 193.5 \tan \theta + 69.4 / \cos \theta$
 T: 下表

●柱 L2
 $L2 = L1 - LA$ $LA = D1 \tan \theta$
 ※L1, L2のGLが同じ場合

●垂木 L3
 $L3 = 71.4 \tan \theta + (D - 90) / \cos \theta - 65.6$

●端部垂木穴位置 A
 $A = 69.4 \tan \theta + 193.5 / \cos \theta - 20$

●H1
 $H1 = (D - 90) \times \tan \theta + 71.4 / \cos \theta$
 L3

θ	A	B	$\cos \theta$	$\sin \theta$	$\tan \theta$
20°	205.2	144.3	0.94	0.34	0.36
25°	219.9	166.8	0.91	0.42	0.47
30°	237.5	191.9	0.87	0.50	0.58
35°	258.8	220.2	0.82	0.57	0.70
40°	284.8	253.0	0.77	0.64	0.84
45°	317.1	291.6	0.71	0.71	1.00

自在桁	T
A-1	78
A-2	123
A-3	148
A-4	168
A-5	188

$\theta \setminus D$	885	1185	1485	1785	2085	2385	2685
20°	806	1126	1445	1764	2083	2403	2722
25°	845	1176	1507	1838	2169	2500	2831
30°	894	1240	1586	1933	2279	2626	—
35°	955	1321	1687	2054	2420	2786	—
40°	1032	1424	1815	2207	2599	2990	—
45°	1130	1554	1979	2403	2827	3251	—

H1	$\theta \setminus D$	885	1185	1485	1785	2085	2385	2685
20°	365	475	584	693	802	911	1020	
25°	449	589	729	869	1009	1149	1289	
30°	541	715	888	1061	1234	1407	—	
35°	644	854	1064	1274	1484	1694	—	
40°	760	1012	1264	1515	1767	2019	—	
45°	896	1196	1496	1796	2096	2396	—	

